

上川地区 教育経営研究会

- 1 目的 新しい時代の要請に応える学校経営や信頼と秩序ある組織の創造を目指し、教育経営上の今日的課題について研究協議することにより各学校における経営の充実に資する。
- 2 主催 北海道小学校長会 北海道中学校長会
- 3 主管 上川管内校長会
- 4 後援 北海道教育庁上川教育局
- 5 開催日 令和7年7月31日(木)
- 6 会場 旭川市大雪クリスタルホール
- 7 参加者 上川管内校長会員他 82名
- 8 日程 13時30分～13時45分 開会式
13時45分～15時30分 全体会
15時30分～15時40分 閉会式



9 全体会

- (1) 北海道小・中学校長会活動報告・教育情勢についての解説
北海道小学校長会 事務局長 稲上 敏男 氏
- (2) 上川地区からの質問事項に対する回答・解説
北海道中学校長会 研修部副部長 川原 明子 氏
北海道小学校長会 研修部幹事 澁谷 宣和 氏
- (3) 回答・解説を受けての質疑応答
- (4) グループ協議

10 道小・道中の調査等による回答・解説のまとめ(成果)

- (1) 北海道小・中学校長会の活動・教育情勢について
 - ① 要望活動(文部科学省・国、道教委に声を届ける)、研究大会の開催予定(道小・道中研究大会、全連小・全日中研究協議会)などについての報告と1年間の活動について概要説明
 - ② 最新の教育情勢について、次期学習指導要領の方向性、学習評価改善、教員採用の受験者数減少、給特法改正、在宅勤務制度導入状況、勤務間インターバル制度検討などの情報共有
- (2) 部活動等の地域移行について
 - ① 北海道の現状について
 - ア 令和7年度までの休日の地域移行を実現
 - イ 教職員の働き方改革の推進の一つとしての位置付け
 - ② 文化系部活動の進捗状況について
 - ア 蘭越町の取組
 - ・ 札幌大谷大学と連携、質の高い指導者の確保、町が費用を負担
 - ・ 全世代が参加できる地域吹奏楽クラブの移行の推進
 - イ 遠軽町の取組
 - ・ 総括コーディネーターを配置し、既存の地域団体と連携し、生徒の声を反映した円滑な地域移行
 - ③ 大会引率を含めた休日の部活動運営について
 - ア 伊達市の取組
 - ・ 地域スポーツクラブが休日の部活動運営大会引率から運営まで一括して担当
 - ・ 指導者の確保と費用負担ゼロで持続可能な部活動の推進
 - イ 中川町の取組
 - ・ 地域クラブが休日部活動を運営、トップアスリート指導者を確保
 - ・ 大会引率時の送迎も可能、地域移行を推進
 - ④ これまで学校が担ってきた生徒指導等の対応について
 - ア 余市町の取組
 - ・ コーディネーターを配置し、教員が地域指導員を兼務
 - ・ 活動方針と指導方法の共有、地域と学校の連携、一体化の実現
 - イ 鷹栖町の取組
 - ・ クラブマネージャーがコーディネーターとして学校や顧問と連携、SNSを活用し、生徒、保護者との連携を強化
 - ・ 世代交流を図りながら生徒の活動を支援

⑤ 札幌市の状況

- ア 令和7年度からモデル事業が立ち上がり、既存と部活動のスポーツ協会と連携
- イ 市内で1500人の指導者確保が必要、報酬面など課題が多く実現には困難な状況

⑥ 地域展開における今後の方向性

- ア 持続可能な部活動の実現については、学校と地域との協働が不可欠
- イ 道教委として好事例の紹介や人材バンクの整理
- ウ 各地域との実情に応じた学校と地域の連携の強化と生徒にとってよりよい部活動環境の構築
- エ 働き方改革の推進と、生徒がスポーツ、文化に親しむ環境整備の一体化が大切

(3) 役職定年後の状況について

① 令和6年度の役職定年の全道的な動向について

- ア 特例任用校長は0人、暫定採用校長が1人、特例任用教頭は9人、一般教員への移行79人、退職などその他が100人
- イ 今後の特例任用校長、暫定採用校長の動向について、管理監督職務状況における年度ごとの状況を見極めながら必要に応じて活用
- ウ 道教委の回答として、今後に向けた具体的な見通しはない

② 学校内の働き方について

- ア 前年度との顕著な変化はないが、学級経営や教科指導から長期間離れている、体力面等の考慮から、勤務における配慮（指導工夫改善の指導者、通級指導の担当者、初任段階研修の担当、校務分掌の軽減等）がなされていること

③ 今後の見通し

- ア 学校の小規模化の進行、教諭への希望者の減少による配慮の困難
- イ 配慮不足による教員として勤務困難から、年度途中の退職の増加、教諭として勤務希望しない人の増加を想定
- ウ 道教委の回答として、新たな役職を置くことはない
- エ 道小、道中、道公教で要望書を提出し、処遇改善や充実を訴え続けていく

(4) 質疑応答

① 在宅勤務に関わる質問

- ア 現任校の状況から、在宅勤務の取得に対する教職員の意欲が感じられないが、在宅勤務の好事例や業務内容があれば、伺いたい

② ①に対する回答

- ア 現時点で、具体的な情報はなく、札幌市で今年度から報告書の様式が変わり、簡略化された分、内容をしっかりと見て質と量を判断しなければならない状況になっている。学校と同程度の業務量を求めるのは難しい。ただ、ここ最近、オンデマンド研修が多くなっているのので、受講奨励として自宅での取組の推進を行っている

③ 部活動の地域展開について

- ア 土日の活動において、各市町村で中心校は参加しやすい環境だが、町の中心部から離れた学校では交通手段の確保という状況から参加に難しい面がある。交通手段をうまく確保している好事例があれば伺いたい

④ ③に対する回答

- ア 今のところ、そのような好事例はない。地域移行を思い切って踏み切った地域でハレーションが起こっていることを耳にする。交通手段の確保に関わる好事例を今後探してお伝えしたい

(5) グループ協議

① 概要 4～5名の小グループに分かれて協議

② 協議のテーマと状況

ア テーマ

- ・働き方改革、在宅勤務、部活動の地域展開について、各市町村・学校の取組や進捗状況を紹介・交流、解決に向けて協議
- ・学校経営上の悩み・困っている事柄について紹介・交流し、解決に向けて協議

イ 交流および協議の状況

- ・各校の課題解決に向け会員間で活発な情報交流・協議

